



防災の基礎知識&対策

津波・高潮

沿岸部に与える災害として「津波」と「高潮」があります。地震、台風など起こる要因は異なりますが、どちらも高い波が押し寄せ被害をもたらします。地震や台風の際には沿岸には近づかないようにしましょう。

■津波と高潮の違い

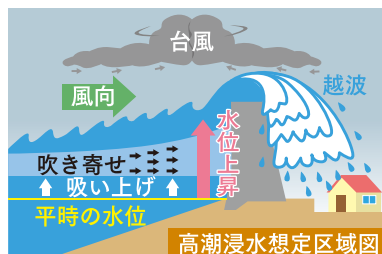
〔津波〕

津波は地震により海の底が動き、その上の海水をおし上げることで起こり、陸を駆け上がった川をさかのぼることもあり、大きな被害をもたらします。海に囲まれた日本は、これまで何度も大きな津波に襲われています。地震が起こったら津波にも注意しましょう。



〔高潮〕

高潮は、台風や低気圧の接近により、海水面（潮位）が平常時よりも高くなる現象で、「気圧低下による吸い上げ効果」と「強風による吹き寄せ効果」が原因となって起こります。満潮に重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。



事前にハザードマップを確認

災害発生時に被害が想定される区域や避難場所等が示されています。
重ねるハザードマップ▶ disportal.gsi.go.jp

津波・洪水・高潮に関する標識の例



津波警報・注意報と とるべき行動

「大津波警報（特別警報）」、「津波警報」または「津波注意報」は、その海域における最大級の津波を想定して発表します。マグニチュード8を超える巨大地震などの場合には、最初の「津波警報」で予想される津波の高さを数値で示さず、「巨大」「高い」という言葉で発表して避難を促すことに重点を置きます。

高潮警報・注意報と とるべき行動

高潮による災害の発生が予想される場合は、「高潮注意報」（潮位1.4m）、「高潮警報」（潮位1.8m）、「高潮特別警報」（数十年に一度の台風や温帯低気圧により高潮になると予想）を発表します。



安心・快適な住まいづくり

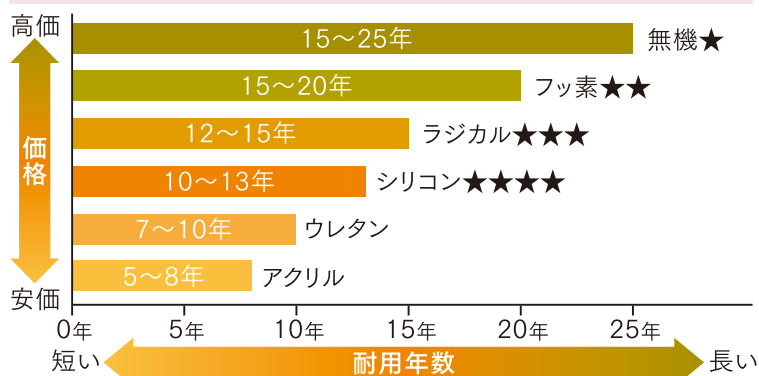
定期的なメンテナンスが大事だね。



屋根・外壁の塗り替えリフォーム

塗料は種類によって価格・耐久性が異なります。価格は高くても長期的にみれば、塗装回数を少なくできる耐久性の高い塗料のほうがお得になる場合も。塗り替えサイクルも考慮して塗料を選びましょう。

代表的な塗料の価格と耐用年数目安



【塗料選びのポイント】

◆シリコンが主流

近年「アクリル・ウレタン」はほとんど使用されなくなり「シリコン」が主流に。次に新しい塗料で塗膜が劣化しにくい「ラジカル」が人気。「フッ素」は高価だが耐久性は高い。

◆耐久性の高さなら「無機」

一般的な有機物の樹脂ではなく、無機物を配合した塗料。紫外線に強く、最も耐久性が高い。

◆その他の塗料

クラックを抑える「ピュアアクリル」、雨水で汚れを落とせる「光触媒」などがあり、太陽を反射する「遮熱塗料」は屋根におすすめ。